

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

<研究課題名>

泌尿器腫瘍（腎臓、尿管、膀胱、前立腺、尿道、精巣、後腹膜）の臨床病理学的検討

The clinicopathological investigation of urologic tumor (kidney, ureter, bladder, prostate, urethra, testis, retroperitoneum)

<研究期間>

実施承認日～2027年2月28日

<研究の目的・意義>

名古屋大学医学部附属病院およびその関連施設において、過去30年間に泌尿器腫瘍（腎臓、尿管、膀胱、前立腺、尿道、精巣、後腹膜）に対して、約10,000名の方が、手術ならびに全身治療を受けています。そこで、このデータを利用して、過去に行われた手術および生検により採取された組織を再評価することで、過去にはわからなかった患者さんの生命予後に影響する因子がないか再検討することがこの研究の目的です。

あたらしい因子がわかれば、これからの泌尿器腫瘍（腎臓、尿管、膀胱、前立腺、尿道、精巣、後腹膜）に対して、有効な治療方針が確立できる可能性があります。

<研究方法>

1987年1月1日から2027年1月31日の間に名古屋大学医学部附属病院およびその関連施設（JCHO 中京病院 小牧市民病院 岡崎市民病院 豊橋市民病院 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院）にて、泌尿器腫瘍（腎臓、尿管、膀胱、前立腺、尿道、精巣、後腹膜）で受診された約10,000名の患者さんのカルテ情報を使用します。

具体的には、診療録に記載される情報（身体的特徴、採血結果、尿検査結果、画像評価（CTなど）、治療内容、治療歴の項目を参照させていただきます。研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担となるようなことは行いません。集められた情報を解析し、過去にはわからなかった患者さんの生命予後に影響する因子がないかどうか、検討させていただきます。

<予測される利益・不利益について>

この研究に参加いただいた場合、患者さんに直接生じる利益はございません。また、過去の記録をもとに検討いたしますので、今回参加いただいた患者さんへの新たな負担や副作用などの不利益はありません。

再検討の評価結果が腫瘍の摘出時のものと異なる場合は、原則、診断目的ではないため、一切公表しません。しかし、研究対象者に利益があり、対応方法が明らかな場合には、本学倫理委員会で審査のうえ、研究対象者に報告することがあります。

<本研究の実施について>

この研究は名古屋大学生命倫理審査委員会の承認を受けたうえで行われます。

もしも患者さんがこの研究へのご自身のカルテ情報の利用を望まれない場合には、この研究には使用いたしませんので、下記連絡先までご連絡、ご相談ください。

しかしながら解析終了後または学会・論文での発表後には、データを削除できないことがあります。

連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科泌尿器科

研究責任者名 井上 聡

住所 名古屋市昭和区鶴舞町65

電話 052-744-2985

FAX 052-744-2319

苦情の受付先：

名古屋大学医学部経営企画課

電話 052-744-2479

<個人情報の保護について>

研究に用いるカルテ情報は全て匿名化して誰の情報かわからないような形にしてから解析を行います。したがって、患者様の個人情報に他に漏れる心配はありません。匿名化されたデータやその他の解析資料等は、研究終了後5年間を経過した後、破棄いたします。

<費用について>

この研究に関して、患者さんへ追加でご負担いただく費用はありません。また

謝礼もございません。